

新たな体制でより良い発想を

新しい年が始まり、役員もリーダーも変わりました。この新体制での2年間、どうぞ協力をいただければと思います。
コロナ禍以来、活動環境が大きく変わってきております。各学区や地域での活動を見直す良い機会と捉えております。
これまでの方法をそのまま継承するのではなく、常に新しい考え方や発想を取り入れて、改革を進めていただきたいと思います。



青少年育成推進員連絡協議会
会長
織田 俊美

令和6・7年度 新役員



会計
小牧 優子
[大津中学校区]

今年度より会計を拝命しました小牧です。大ベテランから引き継ぎましたので何かと至らない部分もあるかと思いますが、ミスのないようしっかりとやっていきたいと思います。若輩者ではございますがどうぞよろしくお願いいたします。



会計監査
鈴木 和子
[大津中学校区]

長年、会計をつとめてまいりましたが、今年度は会計監査を担当させていただきます。会計では何ごともなく少し肩の荷がおりた気がします。今までの経験を活かし監査という仕事をしたいと思ひます。「世の政治家」を見習わないよう目を輝かせてつとめたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。☆キラキラ☆



庶務
小川 輝夫
[追浜中学校区]

「ケッコー長いことやったな～」と思ひ、2年前に役員を引退したのに、またお呼びがかかったので引き受けました。受けたからにはトントン役目を果たさせていただきます。具体的は何をしようかと思ひつつ、ハード面（事業の具体化・実行）はもとより、ソフト面（意識向上・改革）を重点におき、微力ではありますが協議会活動の一役を担っていきます。“自分自身も変えなくては”を心掛けていきます。



研修研究部会長
平賀 茂隆
[長井中学校区]

今年度から部会長になりました平賀です。青少年育成推進員になって2年になります。分からないことだらけですので、部会員の皆様のご指導ご鞭撻いただけると助かります。色々ご迷惑をおかけすることも多いと思ひますが、2年間よろしくお願いいたします。

新任期修報告



◀4月14日(日)令和6年度新年度総会・委嘱式終了後、横須賀市のはからいで「一般社団法人横須賀の音楽家を支援する会」によるコンサートが始まり、見事な演奏に聴きほれました。フルート 石橋 麻奈美さん、ヴァイオリン 永田 美智子さん、ピアノ 高橋 壮一郎さん(曲目「愛のあいさつ」「チャルダッシュ」「川の流れるように」)



今年度から活動に加わった約20人の新任となる青少年育成推進員へ、体制や活動の研修が行われました。青少年育成推進員は地域連絡会(中学校区で地域活動)と連絡協議会(研究部会での活動)の2つの体制があり、活動の内容からの質問も多く発せられ士気の高さを感じられました。
一方、年間計画(部会を超えた活動を含む)が不明確であり、目的に基づく活動やイベントがどのようにつながるのか説明して欲しかったのです。また、説明資

料を見返すことができる環境の整備が必要と感じました。
(久里浜・石井 良)
この研修会では連絡協議会の組織と活動のことが紹介され、特に研究部会の活動案内に時間が割かれていた印象でした。
すでに配布されていた活動報告書や年間会議計画などを事前に読み込んで理解していたつもりでしたので、研修の意味を取り違えて参加した自分には正直物足りなさを感じてしまいました。
活動報告書などの作成や部長はか皆さんの説明準備も大変な苦勞をされたと思われまふので、効率的な資料の活用や導入は今後の課題と思われました。
そんな中でも研修研究部会の研修によるスキルを習得することの大切さと、環境研究部会の非行防止ポスター募集作業の発表で、ネガティブではなく、ポジティブなメッセージのポスターの紹介は強く好印象として残りました。
私もこんな子どもたちの心が満たされるようなポジティブメッセージを発する大人でありたいと思ひます。
(長沢・宮島 政人)

横須賀三浦地域青少年指導員セミナー 青少年指導員（育成推進）活動研究会

6月22日(土) 横須賀三浦地域県政総合センター

横須賀・三浦地域の青少年指導員40人ほどが集まり、今年度は「アドベンチャー教育」について学びました。

セミナーの内容は、海外で開発された体験学習法「アドベンチャー教育」というもので、普段の自分から1歩を踏み出して心がドキドキする体験を大切にするという教育法でした。「冒険」とい



本語に訳するのは不自然なので「アドベンチャー」とそのまま呼んでいるとのことでした。「アドベンチャー」と表現するエクササイズを自らの頭と体を使ってグループで乗り越えていくもので、ルールは単純なのですが、参加者が勇気を出してコミュニケーションをしないとクリアできないゲームをグループで体験するものでした。

開始時は「はじめまして」の参加者が終了時にはみんな友だちのようになっています。グループで課題達成をした時にはまた違った喜びがあり充実した時間でした。ゲームを通してドキドキ楽しく実践され、活動に活かすことが重要と実感しました。

指導員側に立てば子どもたちへの関わりのヒントになり、受講者としてみれば自己啓発になると思いました。

(長沢・宮島 政人、馬堀・重久 公男、久里浜・石井 良、大津・長澤 陸)



荒崎海岸 クリーンフェスタ

荒崎海岸クリーンフェスタ2024が6月9日(日)に行われました。2011年に始まり、今回は24回目です。地域の大人と子どもが合わせて150人以上参加しました。海岸の清掃を行い、ヒラメの稚魚千匹を放流しました(四千匹を漁協に撒いてもらったので合計五千匹放流)。長井のWAF Aという、

未来のために住民主体の魅力ある地域づくりを目指して様々な活動をしている団体が主催し、青少年担当が協力する形です。



(長井・古河 麻弥)

※WAF A: WEST AREA FUTURE ASSOCIATION (参考 <http://www.wafa.jp/>)

えっ服着て水泳!!

明浜小の水泳授業プール監視員を久里浜中学区青少年育成推進員で行いました。管理職と産休直前教諭の替わりに6月3時限、7月2時限、9月2時限を担当。特に印象深かったのが着衣体験授業でした。

まず水着だけで陸上体操。その後、服を上下着てプールに入り水を掛け合う。次に水中体操。指導教諭が「最初の体操と比べてどうだった」と質問すると、

「動きづらい」「体が重い」など生徒が元気に反応していました。

次に着衣のまま全力で泳いだ後は、仰向けで浮く訓練。最初は上手く浮けなかった生徒たちも、指導でコツをつかむと徐々に浮けるようになりました。

近年、河川や海での痛ましい水難事故が多い。この体験授業が、万一の時に思い出して役に立つよう願います。

(久里浜・狩野 昭夫)

非行防止キャンペーン

7月13日(土)横須賀中央駅周辺・汐入駅周辺

横須賀中央駅では、Yデッキ下に集合しました。のぼり旗や横断幕を準備し、手分けしてティッシュペーパーの配布を始めました。しかし、なかなか受け取る人が少なく、みんな協力して約1時間で配布を終了しました。

青少年推進員としての活動が、一般の人にはどの団体が何を行っているのか分

かりづかったため、受け取りを避けられてしまった気がします。ティッシュペーパーの配布が目的になってしまったことは反省点です。後で知人から「Yデッキの上についてしよう」と言われ、説明した次第です。

(大津・長澤 陸)



▲汐入駅前



▶横須賀中央駅 Yデッキ下

何だろう? 武中のBMSって

武山中学校区のBMSとは、地域の人々と中学生との交流を図るために地域行事のお手伝いや、交流イベントの企画運営をする生徒のボランティア活動の仲間のことです。B (Blue 青少年の青) M (Mates 仲間) S (Staff 部員) の略で、平成17年度の先輩たちがつけてくれた名前です。



活動内容は地域行事の各町内会の祭り、盆踊り、交流イベントの自転車教室、小学生学習サポート、武山自然ワクワク教室、小学校フェスティバルなどです。募集から集約、活動の見守り、運営まで青少年育成推進員と地域の大人が学校任せにしないで運営しているところが特徴です!

3月にはBMS解散イベントでボウリング大会、バーベキューなどを行っています。

今年も6月4日に武山中学校でBMS結団式が行われました。コロナ前までは継続していたので、100人を超える登録者がいました。2、3年の活動休止と少子化の影響で登録人数が減少していましたが、今年は50人まで盛り返し、夏休み中も登録者が増えてきています。これからのBMSの活躍が楽しみです。

(武山・吉井 直子)

5年ぶりに パトリール ペリー祭花火



7月13日(土) 久里浜海岸で5年ぶりに開催された。5000発にパワーアップした打ち上げ花火に、約8万人の歓声がとどろいた。

花火開始の午後7時30分、久里浜、神明、岩戸3中学校区の青少年育成推進員、校長など11人が2コースに分かれて行政センターをスタート。久里浜海岸までパトリールを実施した。ペリー通りは身動きがとれない状態。約30分後の終了時には、集合場所の本部にたどり着けなかった。

行政センターへの帰路も小中学生を中心に声かけをしたが、パトリール時間、コース再考、出店の配置など課題が残った。

(久里浜・狩野 昭夫)

待ち焦がれた サマーコンサート

北下浦行政センターの集会室で北下浦中学校音楽部、長沢中学校吹奏楽部、津久井浜高校吹奏楽部の生徒の出演で8月19日に開催されました。

このコンサートは今年で26回目を迎え、最初のころの出演者はもつお父さん、お母さんになって子どもがこのコンサートに出ていても不思議はないほどの歴史を感じます。

コロナ禍での開催は無観客でしたが、今年は5年ぶりに観客を入れての開催ということで、スタッフも出演した子どもたちも気が入っていました。当日、用意した200席ほどが満席になるほどの盛況で、演奏する子どもたちは「緊張はするけど張り合いがある」という感想を述べていました。いや、本当に張り合いを感じていたのは、私たち大人なのかもしれません。

一生懸命演奏してくれてありがとう!

(長沢・宮島 政人)



よこすか育成通信

発行者：横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

会 長：織田 俊美

住 所：〒238-0016 横須賀市深田台37番地（横須賀市立青少年会館）

横須賀市役所民生局福祉こども部子育て支援課 TEL.046-824-5377



横須賀市青少年育成推進員
Webサイト

呼びかけました。ふたりの意思は一夜のうちに広まり、その日、学校中がピンク色に染まりました。いじめられた生徒は、その様子を見て、安堵の表情を浮かべていたそうです。以来、その学校でいじめを聞くことはなくなっ

ピンクシャツデー運動 って知っていますか？

ピンクシャツデーは、カナダの学生が始めた「いじめ反対」の行動に由来する世界的な運動です。

始まりは2007年。カナダの中学の男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校したことをきっかけに、からかわれ、暴行を受けました。その出来事を聞いたふたりの上級生がクラスメートたちに「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう」と

たということでした。

ピンクシャツデーは、日本でも多くの学校や企業が参加し、いじめに対抗するためにピンク色の服や小物を着ていじめ反対をアピールする日として、大切な意味を持っています。

横須賀市でも市職員の発案で偶数月の最終水曜日に啓発活動を開始。小中学校にも拡がりを見せています。青少年育成推進員では学校訪問などを通じて各学校の取り組みをヒアリングさせていただきました。その活動はピンクの小物（名札、ストラップ、リボンなど）を身に

着けるものから、生徒同士での話し合いの場をつくるもの、また、認識はあるもののあえて活動をしていない学校まで幅広く、さまざまです。各学校の風

土、意識、環境、体制などに見合った活動によって、いじめ反対のアピールに取り組んでいきます。ただ、この活動は強制されるものではなく、賛同しない人に対する考えも尊重する必要があります。

青少年育成推進員では今後も取材を通じて、ユニークな取り組みについては本紙面で共有を図っていきたくと考えています。

出典：<https://pink-shirt-day.com/>
(久里浜・石井 良)



▲横須賀市公式ホームページ
「ピンクシャツデー運動」
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0531/pinkshirtday.html>

▶横須賀市青少年会館
1階、入ってすぐ目に入る
ピンクシャツデーへの取
組み



ゆうやけこやけ

我が家のそばに「うらが道」の道標があります。「この道は江戸から金沢、田浦、逸見、汐入、深田、大津を経て浦賀へ至る昔の要路でした」と書いてあります。江戸時代には今の太田町、米ヶ浜通、安浦町は海でした。海沿いに歩けなかったのでしょう。汐入から聖ヨゼフ病院の山を登り平坂上、深田、そして聖徳寺の坂を下る必要がありました。坂を下ると左手に庄屋の大きな屋敷があり、右大津（道標）、馬堀へ続く白砂青松の海岸が続き浦賀はもうすぐでした。

この屋敷は、田戸の庄屋永嶋家のものでしたが、現在は「赤門」と言われる朱塗門だけが残っています。この屋敷には島崎藤村の父が幕末に訪れており、小説「夜明け前」にも登場します。歴史ある道を歩くのは楽しいです。(M.M)

編

集

後

記

時代の変化に合わせた推進員の活動、その中で取材した広報紙の内容は、読む人の心を掴む記事や写真にしていかなければなりません。今後も青少年に役立つ広報紙づくりに努めていきたいと思ひます。(岩戸・飯田 功)

10月以降の主な行事予定

◆10月21日(月)～25日(金)

子ども・若者育成支援強調月間関連啓発パネル展示

◆10月～11月

非行防止キャンペーン

◆11月10日(日)

県・青少年指導員大会(表彰式・講演)

◆11月17日(日)

わんぱくフェスティバル2024

10:00～14:30 神奈川県立保健福祉大学

◆12月14日(土)

中学校対抗ウォークラリー大会

公郷中学校周辺コース

◆12月20日(金)

青少年見守り隊(パトロール)

◆2月8日(土)

活動体験発表会

青少年会館3階ホール

